

記載例

申告書の記載例

申告書を提出する年月日

個人番号又は法人番号を記載してください。

忠岡町内での事業開始年月を記載してください。

住所(又は納税通知書送達先)及び電話番号を正確に記載し、社印及び代表者印を押印してください。  
屋号があれば記載してください。

この申告について応答される方の係名、氏名及び電話番号を記載してください。

氏名を記載し、ふりがなを付して押印してください。  
なお、所有者が法人の場合は、その名称及び代表者の氏名を記載し、社印及び代表者印を押印してください。

経理を委託している税理士等の氏名及び電話番号を記載してください。

前年中に減少した資産の取得価額の合計額を資産の種類別に記載してください。

忠岡町内にある事業所等資産の所在地を記載してください。

前年中に取得した資産の取得価額の合計額を種類別に記載してください。

借用(リース・レンタル)資産の有無について該当するほうを○で囲んでください。  
なお、借用資産がある場合にはその資産名及び貸主の名称等を記載してください。

令和 5 年 7 月 10 日

忠岡町長 殿

令和 5 年度

償却資産申告書(償却資産課税台帳)

※所有者コード

1 住所  
忠岡町忠岡北1-2-3  
(電話 072 - 〇〇〇 - ××××)

2 氏名  
株式会社 ○○工業  
代表取締役 忠岡太郎  
(屋号 )

3 個人番号又は法人番号	4 事業種目 (資本金等の額)	5 事業開始年月	6 この申告に応答する者の係及び氏名	7 税理士等の氏名	8 短縮耐用年数の承認	9 増加償却の届出	10 非課税該当資産	11 課税標準の特例	12 特別償却又は圧縮記帳	13 税務会計上の償却方法	14 青色申告
	自動車部品製造業 (10)	昭和46年12月	経理部 泉北次郎 (電話 072-△△△-□□□□)	大阪花子 (電話 072-〇×〇-1234)	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	定額法	有・無

資産の種類	取 得 価 額			
	前年前に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	計((イ)-(ロ)+(ハ))(ニ)
1 構 築 物	6,000,000	2,330,000	4,000,000	7,670,000
2 機 械 及 び 装 置	3,000,000	3,000,000	2,600,000	2,600,000
3 船 舶				
4 航 空 機				
5 車 両 及 び 運 搬 具				
6 工 具 及 び 器 具 等	2,050,000	240,000	400,000	2,210,000
7 合 計	11,050,000	5,570,000	7,000,000	12,480,000

15 市(区)町村内  
① 忠岡東1-17-3  
②  
③

16 借用資産  
貸主の名称等  
ひまわりリース(株) TEL436-2222

17 事業所用家屋の所有区分  
自己所有・借家

18 備考(添付書類等)

1. 該当資産なし	2. 増減なし
3. 廃業 ( 年 月 日 )	
4. 解散 ( 年 月 日 )	
5. 事業所の廃止( 年 月 日 )	
6. その他( )	

・特例資産に係る添付書類

記載の必要はありません。  
ただし、電算処理により全資産申告を行う事業者は記載を必要とします。

次のような事項を記載してください。

- 前年中、資産の増減がない場合はその旨。
- 前年中に廃業・解散した場合はその年月日、転出した場合はその年月日及び転出先。
- 「短縮耐用年数承認書の写し」、「増加償却の届出書の写し」等、添付した書類の名称。
- 非課税に該当する資産を所有している場合は、その適用条項。

- 前年中に所有者の住所、氏名又は名称等、異動があった場合の異動年月日及び旧住所、旧氏名又は旧名称等の参考となる事項。
- 納税管理人を定めている場合は、その者の住所、氏名。
- その他、この申告に必要な事項及び償却資産の評価について参考となるべき事項。

[[イ]前年前に取得したもの]-  
[[ロ]前年中に減少したもの]+  
[[ハ]前年中に取得したもの]によっ  
て算出した、取得合計額を資産の種類  
別に記載してください。

